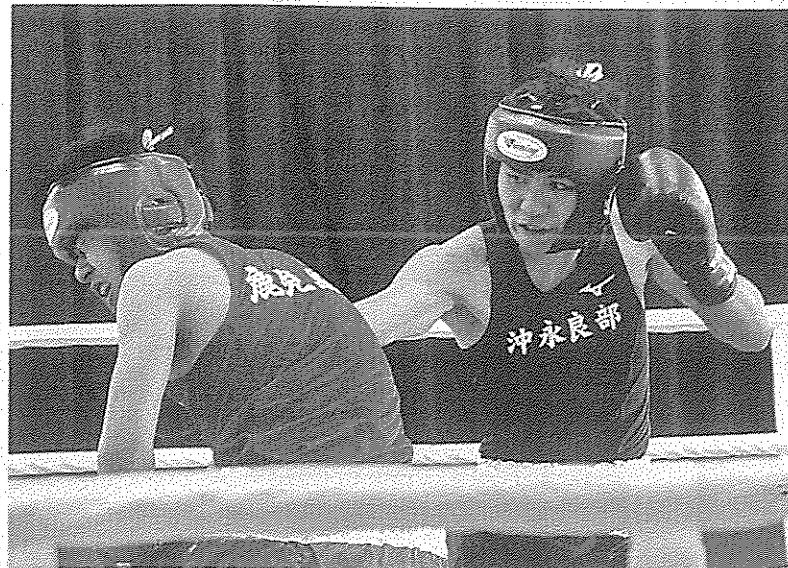


沖高生の軌跡（キセキ）

令和6年5月21日

2024年(令和6年) 5月19日 日曜日

南 満 日 新 聞



準決勝で攻める沖永良部3年の森香奈太（右）
＝18日、鹿児島市の県補助体育館



【鹿児島総局】2024年鹿児島県高校総合体育大会（県高校体育連盟主催）は18日、鹿児島市の県補助体育館でボクシングがあった。森香奈太（沖永良部3年）がライト級、古仁屋中出身の高田幸之介（鹿児島工業3年）がウェルター級でそれぞれ決勝に勝ち進んだ。両者とも6月21日に沖縄である九州大会への出場権を獲得した。19日はボクシングが続行し、男子サッカーが始まる。

高田（古仁屋中出身）も

森（沖永良部）
2年連続決勝へ

ボクシング

（県補助体育館）	森香奈太（沖永良部）
【男子】（ライト級）▼	4—1 俵積田（鹿児島工業）
準決勝	（ウェルター級）▼準
松下（鹿児島工業）	決勝 高田幸之介（鹿児島工業）
（3—2 堀山拓巳（鹿児島城西、和泊中出身）	古仁屋中出身）
（ライト級）▼準決勝	5—0 小園（鹿児島城西）



沖永良部の森

ライト級に出場した沖永良部の森香奈太（3年）は2年連続決勝進出を決めた。

準決勝では「左の」ジャブがうまく使えず右が良かつた」という森。第1ラウンド中盤でダウンを奪い「RSC（レフエリーストップ）」を狙えるかと思ったが迷った」と、結局倒しきることはなかつた。

優勝見据える

た。 第2ラウンド直後には相手が連打で攻めてきた。会場も相手選手応援の大歓声だったが森は「自分の応援しか聞こえていなかった」と集中。細かいパンチはもらっていたが、2度目のダウンを奪うなど、気持ちを緩めず戦い切った。このものの第3ラウンドには決勝。「相手はアウトボクサー。ジャブをうまく使って距離を見極めてから右を当てたい」と優勝を見据えた。